

レイクマスター CT-Tの特徴

デジタルカウンターが搭載されており、いろんな便利機能が搭載されています。

- 1 バックラッシュ(糸ふけ)防止システム。**
仕掛けをおろす時、スプールの回転にブレーキをかけてバックラッシュを防止します。
バックラッシュを防ぐことで、糸絡みを防止します。
※最大ブレーキ力は製品によって異なる場合があります。
※出荷時のブレーキ力はゼロにしています。
- 2 グリップカアップ。**
濡れた指先でも滑りにくく、質感に優れたマットラバーコーティング採用。リールを握る力を軽減でき、手感UPや疲労軽減の効果があります。
※ボディ下部のみ、マットラバーコーティングしています。
- 3 5cm刻みの水深表示。**
マーカのない糸をご使用されても、釣り場の水深が一目でわかります。
- 4 船べり自動スローストップ(水上モードOFF)。**
仕掛けを掴みやすい位置に停止させ、Oセットをしてください。次回からもその位置「0.00」で止まってくれますので手返し抜群です。又、止まる手前の約1mからはスローな巻上げに変化しますので、仕掛けが急激に止まるのでワカサギのハリ外れを防ぎます。
※穂先付近でのOセットは行わないでください。
※減速スピード(速さ)を設定することはできません。
- 5 巻き上げスピード調整。**
巻き上げのスピードを7段階で調整できます。
- 6 糸落スピード表示。**
フォール時のスピードを表示します。(単位:m/s)
※メリット フォール中、アタリが良く出るフォールスピードの目安や、棚まで速く到達させたい時のオモリ選択の目安になります。
- 7 左右巻き上げボタン機能切り替え。**
左右のボタンA、Bはそれぞれ「チョイ巻き」「連続巻き上げ」と機能が分かれていますが、お客様の好みにより機能を入れ替えることができます。
- 8 電池残量表示。**
電池残量を3段階で表示します。
釣行前に残量をご確認頂き、楽しく釣りをするためにも必ず予備の電池を

ご持参ください。標準はアルカリ単四電池2本となっていますが、マンガン電池でもご使用出来ます。その場合、使用時間、巻き上げ速さが極端に短く、遅くなります。
※**ご注意** このリールはスプールの回転をマグネットを使ったホール素子と呼ばれる電子部品で読み取っています。従いまして、リールのスプール周辺に他のマグネット製品を持っていくと誤作動を起こす場合がありますのでご極力他のマグネット製品から遠ざけてご使用ください。

9 指定糸巻学習機能。
電子制御されており、ナイロン、フロロ、PEの主要な糸の種類、太さ(号数)を選択し、任意の糸の長さを巻取ることで、リールがご使用になる糸を学習します。
※糸の種類、糸巻き形状、ラインテンションの変動により、デジタルカウンター表示と実際のラインの長さが大きく変わることもあります。目安としてご使用ください。

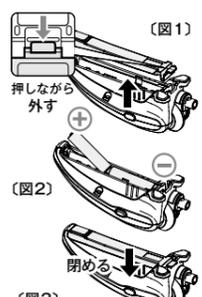
10 自動棚停止。
デジタルカウンターに棚を入力するだけで次回から仕掛けが自動でその棚で止まります。
※棚停止機構は2m以上有効です。使用環境により、設定した棚位置より学習が生じることがあります。

11 水上モード(ON/OFF切替可能)。
船べり停止の手前で、巻上スピードをスローに切り替えるモードです。切り替え位置は設定が可能です。(位置設定:0.5~2m【単位0.5m】、初期設定:水上モードON/位置1m)
※水上モードON時の減速スピードは、水上モードOFF時よりも遅いスピードになります。
※水上モードON/OFFに関わらず、減速スピード(速さ)を設定することはできません。
【メリット】
船べり停止の手前で自動的に超スロースピードに切り替える事で、仕掛けのハリが氷の角(裏)に深くささることを防ぎます。深くささらなければ、オモリの重さを利用して素早くハリを外せます。

12 船べりアラーム(アラームON/OFF切替可能)。
巻上げ中、水深4mより2m間隔で「ビツ」、水深0mで「ヒビツ」と鳴り、仕掛けが船べりに近づいて来るのをお知らせします。
竿先を見なくても素早く魚の取り込みに対応が可能になります。

操作方法

- 1 電池の入れ方。**
1. 電池カバーを(図1)の様に外してください。(無理に力を加えると破損する恐れがあります)
2. ナーの向きを間違えないように入れてください。(図2)
3. 電池カバーを(図3)の要領で閉めてください。(低温環境でご使用時、電池容量が低下することがあります。)
- 2 電源のON/OFF。**
●ON/OFFボタンを3秒以上押し
●電源がONします。
●消す場合も同じボタンを3秒以上押しせばOFFになります。
- 3 ご使用になる糸をリールに学習させます。**
このリールは電子制御されているリールです。糸を巻かれる場合は巻かれる糸の種類、巻かれる糸の号数を選択していただく必要があります。お客様任意の糸の長さを巻いていただく必要があります。内蔵している糸の種類、太さは下表を参照してください。



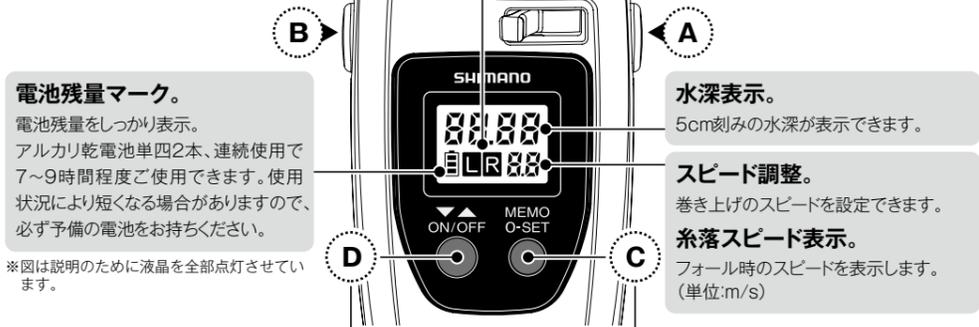
PE	0.09号、0.1号、0.125号、0.15号、0.175号、0.2号、0.25号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号
ナイロン	0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号、1.0号
フロロ	0.15号、0.2号、0.3号、0.4号、0.5号、0.6号、0.8号

それではさっそく糸巻き学習を始めましょう。
C/Dボタン同時長押し(3秒以上)で学習モードへ
※糸巻き学習モードをキャンセルされる場合、C/Dボタンを同時長押ししてください。
水深表示に戻ります。



各部の名称と働き

LR切り替え。
A、B部分に巻き上げボタンを装備しています。R表示の場合は下記の設定で作動します。(初期設定)
A … チョイ巻き。(押ししている間だけ巻き上げ)
B … 連続巻き上げ。(一回押しすと、船縁まで連続で仕掛けを巻き上げます。)
C/Dボタンを同時にチョイ押しすることでA、Bの機能を左右切り替え可能です。
L表示の場合は上記の逆で作動します。



電源ON(長押し) **Oセット(長押し)**

電源OFF(長押し)

学習モード(同時長押し)

学習モード指定値選択(チョイ押し) **学習モード指定値決定(長押し)**

学習モード終了(長押し)

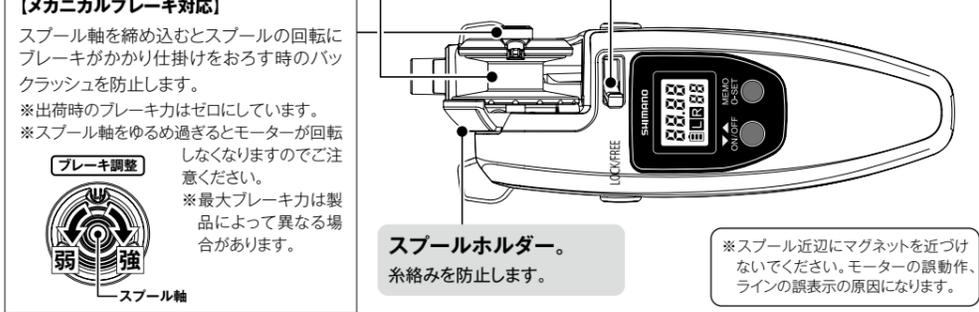
巻き上げ速度変更(チョイ押し)

左右ボタン切替え(同時チョイ押し)

※チョイ押しは1秒未満、長押しは3秒以上押ししてください。

スプール(ブレーキ力調整可能)。
ベアリング2個搭載。軽負荷落下抜群!

クラッチ。
手に包み込んだ状態で、人差し指でクラッチ操作が可能。クラッチOFFの状態でもーターONすると、自動でクラッチはロックになります。

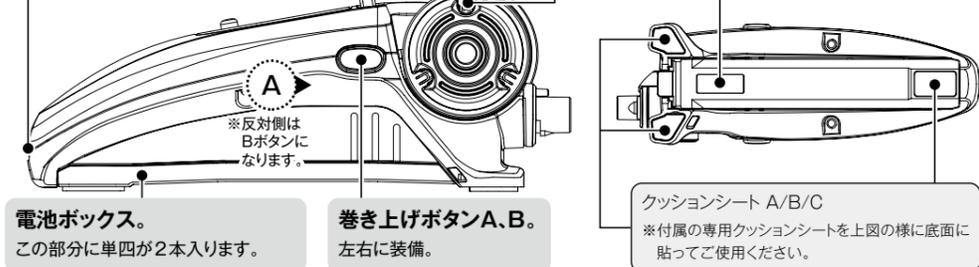


【メカニカルブレーキ対応】
スプール軸を締め込むとスプールの回転にブレーキがかかり仕掛けをおろす時のバックラッシュを防止します。
※出荷時のブレーキ力はゼロにしています。
※スプール軸をゆるめ過ぎるとモーターが回転しなくなりしますのでご注意ください。
※最大ブレーキ力は製品によって異なる場合があります。

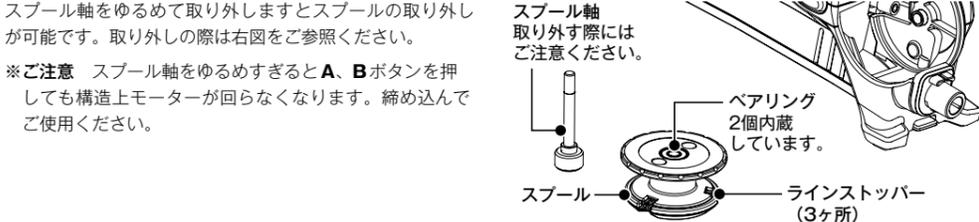
スプールホルダー。
糸絡みを防止します。
※スプール周辺にマグネットを近づけないでください。モーターの誤動作、ラインの誤表示の原因になります。

ラインストッパー。
糸止め3ヶ所。棚決めの際にご使用ください。

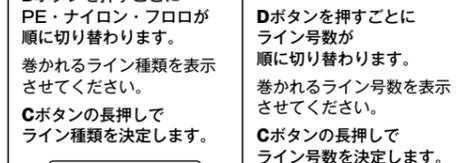
商品コードです。製品のお問い合わせ、修理の際にお知らせください。



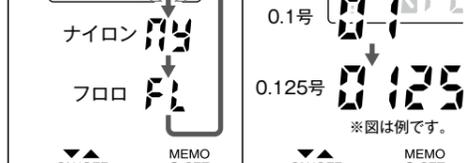
スプール部分の分解



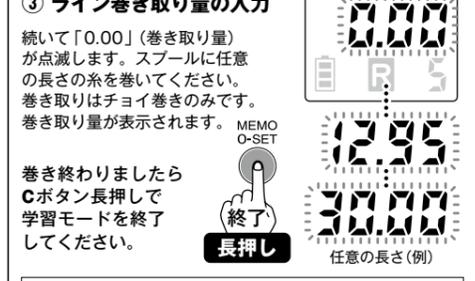
1 ライン種類の選択
ライン種類が点滅します。
Dボタンを押すごとにPE・ナイロン・フロロが順に切り替わります。
巻かれるライン種類を表示させてください。
Cボタンの長押しでライン種類を決定します。



2 ライン号数の選択
ライン種類決定後、ライン号数が点滅します。
Dボタンを押すごとにライン号数が順に切り替わります。
巻かれるライン号数を表示させてください。
Cボタンの長押しでライン号数を決定します。



3 ライン巻き取り量の入力
続いて「0.00」(巻き取り量)が点滅します。スプールに任意の長さの糸を巻いてください。巻き取りはチョイ巻きのみです。巻き取り量が表示されます。
C/Dボタンを同時長押ししてください。
任意の長さ(例)



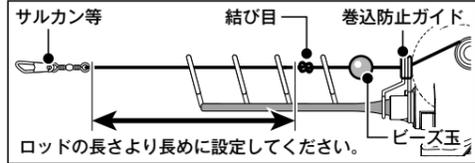
学習モード終了
水深「0.00」が表示されます。

※糸を巻き込みすぎたり、糸を出しすぎた状態でOセットを行われますと糸巻き学習が狂ってしまいます。絶対にお止めください。

4 専用クッションシートを貼りましょう。
付属の専用クッションシートを左図の様に底面に貼ってご使用ください。

5 竿をリールにセットしましょう。
リールの穴径は5mmです。無理をせず竿の取り付け穴に竿を奥まで取り付けてください。無理をして取り付けますと竿を破損する場合がありますので注意して取り付けてください。
振動で緩む場合がありますので、釣りをされている時にも時々ご確認ください。

6 仕掛けをセットしましょう。
ガイドに道糸を通し、仕掛けを結んでください。
※穂先に仕掛けを巻き込まない為に



慣れない間は穂先付近でOセットせず50cm程度余裕を持って行うようにしてください。
※上記設定を行わず、穂先に仕掛けを巻き込んでの穂先破損に関して弊社は一切責任を負いません。

7 Oセットを行いましょ。
「Oセット」とは仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態で、O-SETボタンを長押しすればOKです。次回からはその位置で仕掛けが止まります。又、スローストップが入っていますのでその位置の約1m手前からスローな巻上げになります。
※糸の種類、スプールへの糸巻き形状、諸条件により、カウンター表示水深と実際の糸の長さが変わってしまうことがあります。
※穂先付近ぎりぎりでのOセットはお止めください。ご使用される糸の種類、特にナイロン糸は伸び縮みしますので仕掛けが穂先に巻き込まれ竿を破損してしまいます。
※アラーム機能がONの場合、Oセット機能作動時、「ヒビツ」と鳴ります。

●又、道糸が途中で切れてしまった「高切れ」の場合も、仕掛けを結び直し、仕掛けを掴みやすい位置に持ってきた状態でOセットボタンを長押しすると、マイコンが自動で道糸の長さを再検出し正確に表示してくれます。

8 糸の出し方、止め方。
●クラッチを「FREE」に倒すと、スプールフリー状態になり糸が出て、仕掛けを落下させることができます。
底まで一気に落とすと仕掛けが何度でも止まります。その際、スプールの指をあて、サミングしながら落とします。
●クラッチを「LOCK」にすると、糸は出ません。(強く引っ張ると出ます)

9 棚を決めましょ。
「自動棚停止を使う」:本製品には自動棚停止が搭載されています。自動棚停止はデジタルカウンター表示2m以上で有効です。使用環境により、設定した棚位置より学習が生じる場合があります。

●**棚停止記憶**…停止させたい棚でMEMOボタンをチョイ押しします。水深表示部分が2度点滅すれば記憶完了です。リセットするまではその棚で仕掛けが何度でも止まります。
●**棚停止リセット**…2つの方法があります。
①MEMOボタンを連続で素早く2回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が2度点滅すればリセット完了です。
②水深表示2m未満で、MEMOボタンを1回チョイ押ししてください。水深表示部に「0.00」が1度点滅すればリセット完了です。
※①のみ、アラーム機能がONの場合、「ヒツ」と鳴ります。
「ラインストッパーを使う場合」:クラッチを「LOCK」にし、スプールもしくはモーターで巻き上げ、棚を決めます。棚が決まったら、スプールの付いているラインストッパーに道糸を引っ掛けます。そうすると次回からも同じ棚で止めることができます。

10 モーターでの巻き上げです。
リールの左右にA、Bボタンが付いています。どちらを押しても巻き上げ動作になりますが、押ししている間だけ巻き上げる「チョイ巻き」と一度押しと船べり停止位置まで自動に巻き上げてくる「連続巻き上げ」が分かれています。(もう一度押しすと停止します。)

●初期設定ではAボタンが「チョイ巻き」、Bボタンが「連続巻き上げ」に設定しています。(液晶画面でR表示がある場合、この設定になっています。)
●ボタンA、Bの機能を入れ替えることも可能で、C/Dボタンを同時に押しと液晶画面のRとLが交互に入れ替わります。L表示の時はAボタンが「連続巻き上げ」、Bボタンが「チョイ巻き」となります。ご自分の使いやすい設定で行ってください。
●連続巻き上げ中に「チョイ巻き」を押すと「チョイ巻き」に切り替わります。その逆は切り替わりません。
又、クラッチがフリー状態で、A、Bボタンどちらかを押し、巻き上げ動作になるとクラッチは自動で「FREE」から「LOCK」に切り替わり、巻き上げ事が可能となります。
※**ご注意**
水深表示0cm以下ではチョイ巻きしか動作しませんが、穂先巻き込みには十分ご注意ください。
スプール固定ナットをゆるめすぎるとA、Bボタンを押しても構造上モーターが回らなくなります。締め込んでご使用ください。

11 巻き上げの速さを設定しましょ。
巻き上げの際、お気に入りの速さに設定する事が可能です。各設定は下表を参照してください。

L	1	2	3	4	5	H
0.8m/s	1.5m/s	1.8m/s	2.0m/s	2.2m/s	2.4m/s	2.8m/s

初期設定はHとなっています。
設定を変えるのは、Dボタンをチョイ押しすると巻き上げ速度が変わります。
その日の状況に合わせて設定してください。

※**ご注意**
スピードはあくまで目安です。電池の状況、負荷によっても変化しますのでご自分で設定を調整してください。
チョイ巻き、連続巻き上げ別々の設定はできません。

12 船べり自動スローストップ。
巻き上げている時、船べり停止位置「0.00」の手前約1mから巻き上げがスローになります。急に止まると、その衝撃でせっかくのワカサギが針から外れてしまう事がありますので船べり自動スローストップ機能が入っております。故障ではございません。

13 さあ釣り開始です。
快適な釣りが行えるよう、実釣前には必ずリールが正常に稼働するか確認して実釣に備えてください。
●道糸は古くなっていないか?
●電池はOKか? 予備の電池は持ったか?
●モーターチューブは痛んでいないか、それなりのトルクで巻き上げられるか?
●スプールフリーの回転は正常か?
楽しい釣りをを行うためにも上記程度のご確認をお願いいたします。

■その他の仕様

- 水上モードの設定方法**
①電源ONの状態(画面①)でON/OFFボタンを6秒押し続けてください。3秒でカウンターが消灯しますが、そのまま押し続けてください。画面②が表示されたら、ボタンを離してください。
②巻き上げスピードをスローに切り替える位置を設定してください。
船べり停止位置から手前0.5~2m(単位0.5m)の間で設定することができます。(初期設定1m)
ON/OFFボタンを押す毎に「H1.00」→「H1.50」→「H2.00」→「HoFF」→「H0.50」順に切り替わります。お好みの数値を選択し、MEMOボタンを押してください。(設定完了)。
- 船べりアラームのON/OFF設定方法**
水上モードの設定が完了したら、船べりアラーム設定画面③が表示されます。(初期設定アラームON)
ON/OFFボタンを押す毎に「Aon」→「AoFF」順に切り替わります。お好みの設定を選択し、MEMOボタンを押してください。(設定完了)。
- 電源オートOFF機能**
電源ONの状態1時間放置されると自動的に電源OFFになります。
- 電池残量が少なくなりますと(電圧低下しますと)自動的に電源がOFFになります。**巻き上げ等モーターがONになりますと必然的に電圧は低下します。魚が掛かったのに巻き上げられないことにならないよう早めの電池交換をお勧め致します。
- モーターリミッター**
スプール回転が止まったままモーターONの状態が5秒以上続いた場合、リール保護の為にモーターを停止させます。故障ではございません。

